



# 日本皮膚科学会の 女性医師支援への取り組み

日本皮膚科学会  
キャリア支援委員会 委員長  
青山裕美

*One step, Over.*

Create the future  
of their own as dermatologist

- 日本皮膚科学会では、30才以下の女性割合が70%を越えた。
- そこで、さまざまな問題について学会をあげて検討すべく「皮膚科の女性医師を考える会」が発足し調査を行った。

# 7割ショック

## 衝撃の事実

40歳になっても大学で仕事をしている人は入局者の1割に過ぎない。

であれば、指導者層に女性が少ないのは、当然のこと。

女性皮膚科医の多くは専ら指導される側であり、指導する側には殆どまわっていないということが明らかになった。

# 全国アンケート調査結果(2009年)

- 1) 入局後5-10年で女性医師の7割が大学をやめている。
- 2) 15年以上大学に残る女性医師は全体の1割。
- 3) 45歳以下の女性医師のうち、週41時間以上の勤務をしている医師は3割にすぎない。
- 4) 常勤をやめる理由のうち3割は育児と回答, 7割は無回答。
- 5) 結婚した女性皮膚科医の7割が夫の転勤についていくと回答。
- 6) 女性医師の9割が育児中の病棟, 当直業務の免除を希望。
- 7) 育児中以外でも同様の処遇を希望する女性医師が6割いる。

# 問題

- 女性皮膚科医の多くが皮膚科専門医取得後、40歳くらいまでに離職ないしフルタイムの病院勤務を離れている。
- この状態を放置しておくで、研究はもちろん、入院機能を持つ病院における皮膚科の働きは矮小化し、皮膚科学は、これまでどおりの役割を保つことができなくなる。
- 皮膚科学の将来を担う能力と意欲のある人材を広く発掘し、除くべき障害は取り除きつつ、自ら困難を乗り越える力を養成する必要がある。

**「皮膚科の女性医師を考える会」は、さまざまな形で女性医師のサポートを開始。**

現在では、その内容を継承しながら、「**キャリア支援委員会**」と名称を改め、女性だけでなく男性皮膚科医師も含めたキャリア支援についてのサポートを行っている。

# 組織図

現場の声を集約し、現場に声を掛けるための仕組み

女性が企画実行振り返りを体験  
男性型社会での処世術を学ぶ  
生きたロールモデルと出会う

キャリア支援委員会

東部支部  
委員(2名)

東京支部  
委員(2名)

中部支部  
委員(2名)

西部支部  
委員(2名)

協力委員  
(各大学1名)

協力委員  
(各大学1名)

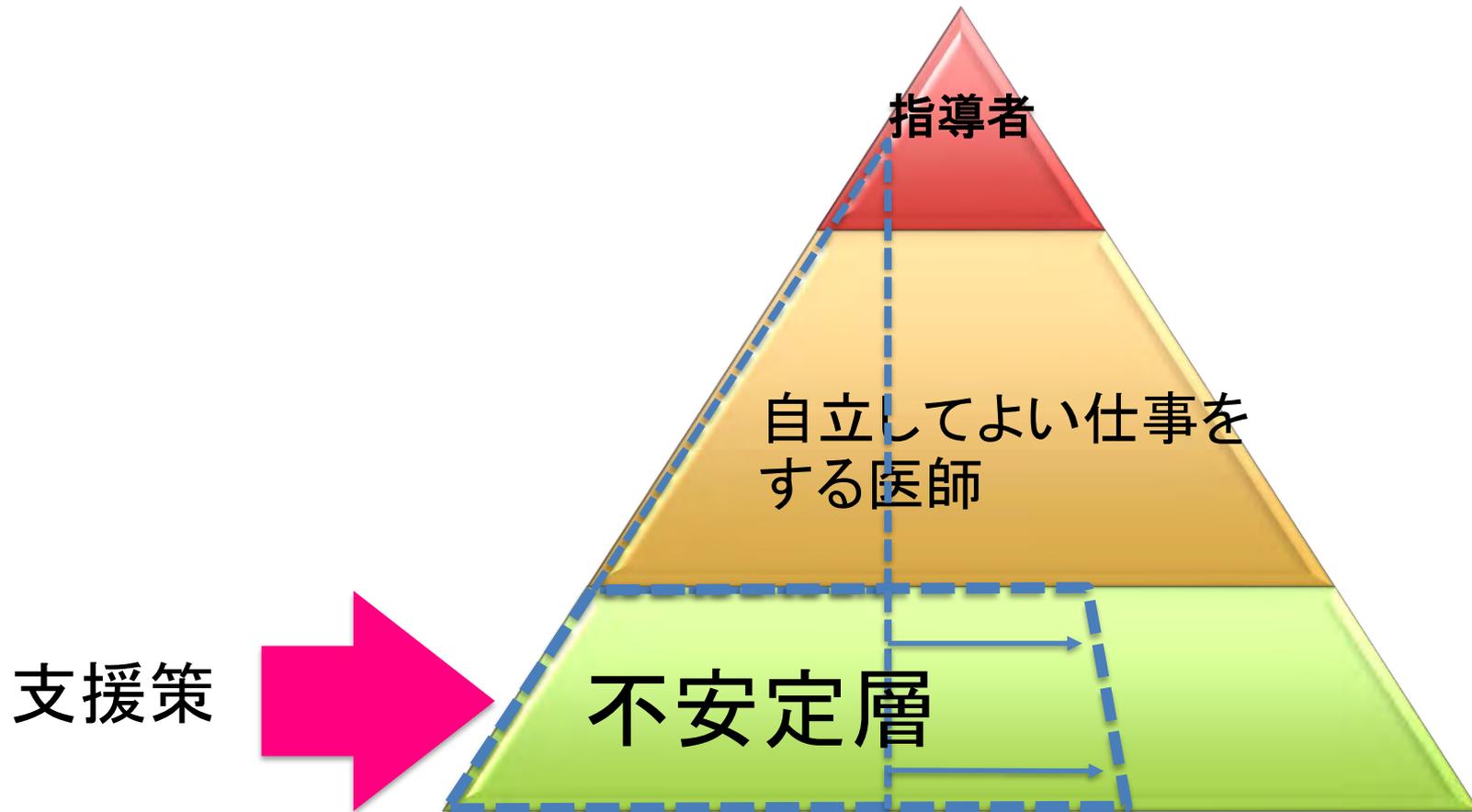
協力委員  
(各大学1名)

協力委員  
(各大学1名)

各種ワーキンググループ(男性、女性)

# 2008年頃の目標

働きやすい職場環境



# 2014年頃～の目標

(1) 皮膚科学における指導的役割を担う人材の育成

(2) 皮膚科勤務医の就労の継続および再開の支援

(3) 皮膚科医の使命感と公共心の涵養

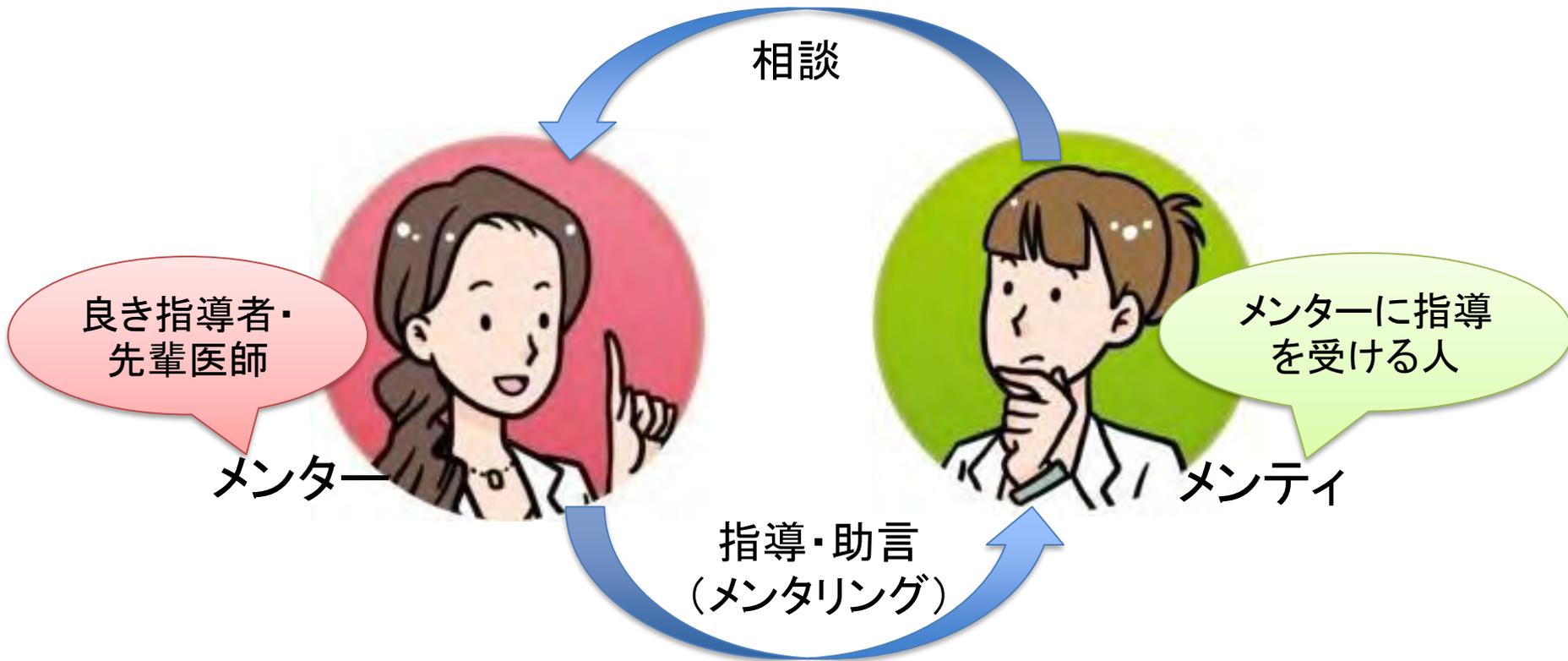


# 女性医師・若手医師のサポート活動

- メンターによるメンティの相談会
- 総会時の教育講演 春
- 皮膚科リーダー養成ワークショップ
- サマースクール
- 情報収集(アンケート) & 情報発信(ニュースレター)



# 「皮膚科の女性医師を考える会」活動紹介 メンターによるメンティの相談会（通称M&M）



メンティの自発的・自律的発達を促す

# モチベーションを高める!

夢中になれることはありませんか？ 自分の強みは何ですか？  
自分の内側から溢れる「やる気」をエネルギーにして働くことを考える。



## 第70回 日本皮膚科学会西部支部学術大会 メンター&メンティー相談会

### PROGRAM

- ミニレクチャー
  - とにかく、続けてみる 岸部麻里 (旭川大)
  - 1症例との出会いから始まったこと 竹尾直子 (大分大)

- M&M相談会 [WGメンバー]
  - 竹尾直子 (大分大)、宮下 梓 (熊本大)、杉山聖子 (川崎大)
  - 東 裕子 (鹿児島大)、中原真希子 (九州大)

相談会のメンティー募集  
キャリア形成、家庭と仕事の両立、職場の人間関係など、気になること不安なことを他施設の先生に相談してみませんか？ (当日参加もOK)

2018年 **11月10日** (土) 13:30~15:30  
参加費：無料  
島根県民会館2階 第2多目的ホール

申し込み方法 (下記ページより申し込みください)

日本皮膚科学会ホームページ  
<https://www.dermatol.or.jp/>

会費・会費関係の振替  
キャリア支援委員会  
メンター&メンティー相談会(11/10開催)



お問い合わせ先 公益社団法人日本皮膚科学会事務局 TEL: 03-3811-5099 kain@dermatol.or.jp



事前に行ったメンティへのアンケートをもとにメンターとのマッチングが行われ、メンターとメンティそれぞれ2、3人ずつのグループでの相談会を行いました。他施設の現状を知る機会にもなります。

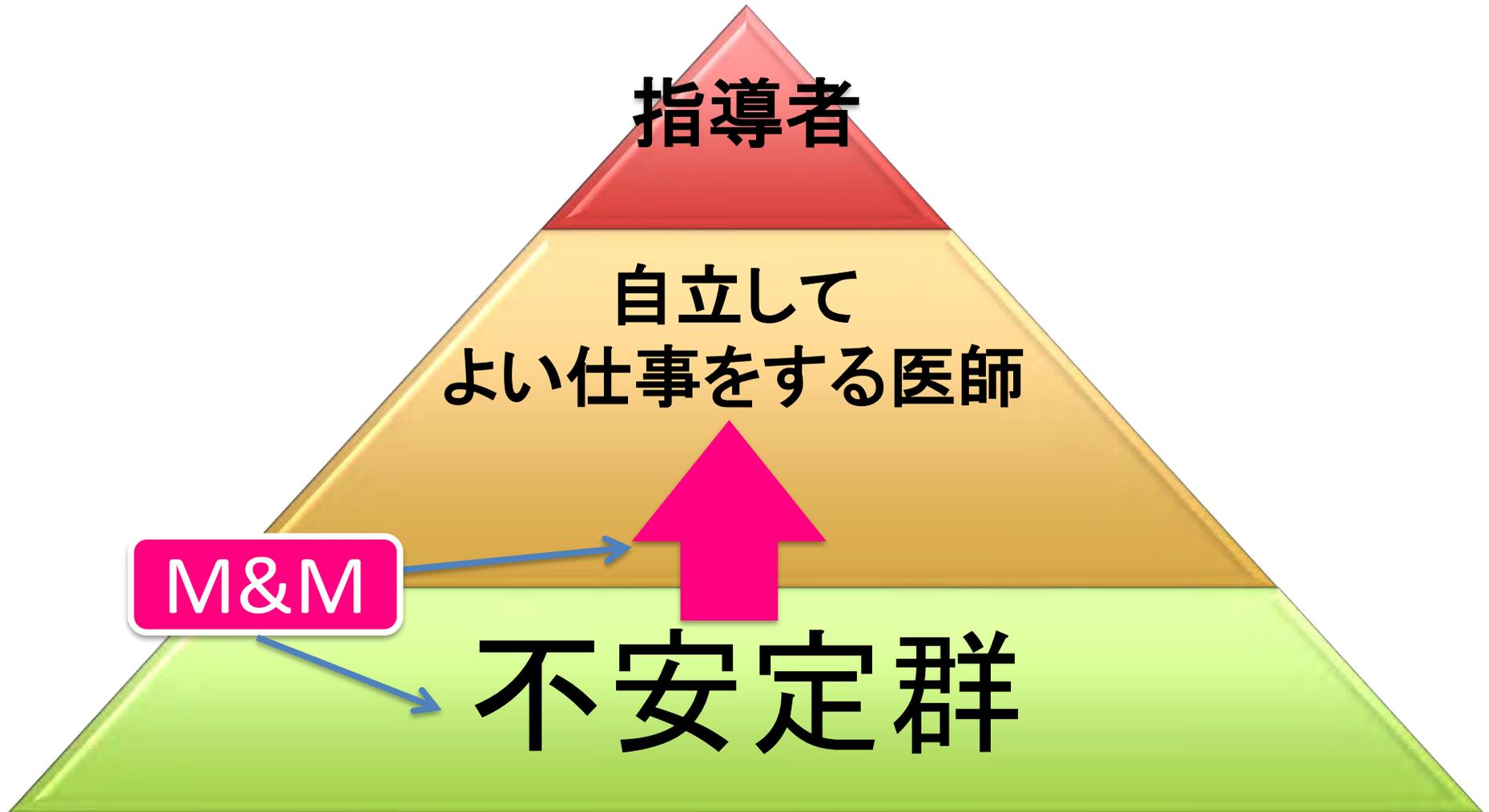


# なぜM&Mをするのでしょうか？

- 女性は、様々なライフイベントに直面し、困難を感じると、医師を続けることができない、仕事を辞めたいと考えたくなります。
- ほとんどの女性皮膚科指導者は、良い上司に指導されて成功した事実がありました。
- 先輩は、皮膚科を続けるうえで経験したいろいろなこと、どうやってレベルアップしてきたか、困難をどうやって乗り越えてきたかを（失敗も含めて）悩んでいる後輩に伝えたいと思っています。

こうして、M&Mは始まりました！

# M&Mのめざすもの



# どんな相談が多いのでしょうか？

- 皮膚科医としての自分自身のこと
  - 皮膚科の知識や技能を上げたい。どうしたらいい？
  - 専門医取得、大学院、留学など進路のこと
  - 自分の売り(サブスペシャリティ-)のを見つけ方
  - 漠然とした皮膚科医としての将来像
- 直面している(するであろう)困難について
  - 職場の人間関係や患者さんで困っていること
  - 婚活のことや妊娠出産のタイミング
  - 配偶者が転勤、どうしたらいい？
  - 産後の職場復帰や育児中の仕事のこと
- 他大学・医局の事情も知りたい
- ロールモデルとなる先生の話を知りたい

皮膚科医としてのあなたの人生において悩んでいることがあなたの相談事項です！



第69回日本皮膚科学会中部支部学術大会

# メンター&メンティー相談会

Mentor & Mentee



## 自分と人を活かす働き方を考えよう!

どのようなキャリアステージ、年代、勤務形態においても、「自分を活かして働く」ことはもちろん、家族・配偶者・同僚など自分の周囲にいる皆がハッピーになれるような働き方、すなわち「人を活かす働き方」を考えていくことが大切なのではないのでしょうか。この機会に「自分と人を活かす働き方」について考え始めてみませんか？

プログラム

1. レクチャー **自分と人を活かす働き方と組織について**  
徳倉 康之 (株式会社 ファミリーエデュケーション、NPO 法人 コアザ・リンク・ジャパン 理事)
2. グループディスカッション・意見交換

2018年 **10月27日(土)** 17:30~19:00  
参加費：無料  
大阪国際会議場 11階 会議室 1102

申し込み方法 (下記ページよりお申し込みください)

日本皮膚科学会ホームページ  
<https://www.dermatol.or.jp/>

会員・医療関係の皆様

キャリア支援委員会

メンター&メンティーの相談会 (MM)HP



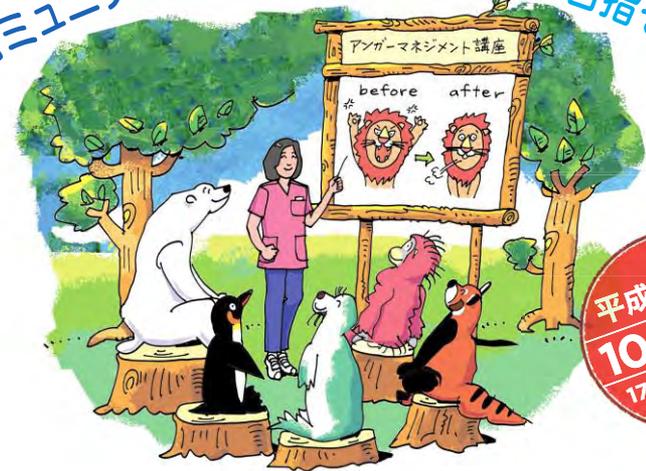
お問い合わせ先 公益社団法人日本皮膚科学会事務局 TEL: 03-3811-5099 kaijin@dermatol.or.jp

2018年度キャリア支援委員会東部支部

# メンター&メンティー相談会 in 旭川

会場 星野リゾートOM07旭川 6F エルム

コミュニケーションスキルのアップを目指そう!



平成30年  
**10月6日(土)**  
17:00~19:00

### アンガーマネジメントを学んで、対人ストレスに対処する

- 🕒 17:00 開会の挨拶
- 🕒 17:05 アンガーマネジメント入門 (講師: 蓮沼直子) (60分)
- 🕒 18:05 MM相談会 (50分) 相談会のメンティー募集
- 🕒 18:55 まとめ+閉会あいさつ

#### 相談会のメンティー募集

今後のキャリアを考えて不安に思っている方、育児等のワークライフバランスで悩んでいる方、メンター&メンティー相談会で、施設の枠を超えて、先輩皮膚科医に思い切って相談してみませんか？  
なにか解決の糸口が見つけれられるかもしれません。お申込みは！日皮会HPより!

#### 東部支部M&M相談会企画 Working Groupメンバー

伊藤明子 / 岸部麻里 / 蓮沼直子 / 皆川智子 / 矢口順子  
(キャリア支援委員/ながたクリニック) (キャリア支援委員/旭川医大) (秋田大) (弘前大) (山形大)

#### お申込み

日本皮膚科学会HP  
キャリア支援委員会から

<https://www.dermatol.or.jp/>

日本皮膚科学会 ▶ 会員・医療関係の皆様 ▶ キャリア支援委員会 ▶ 開催案内



# M&Mに参加してよかったこと

## メンター



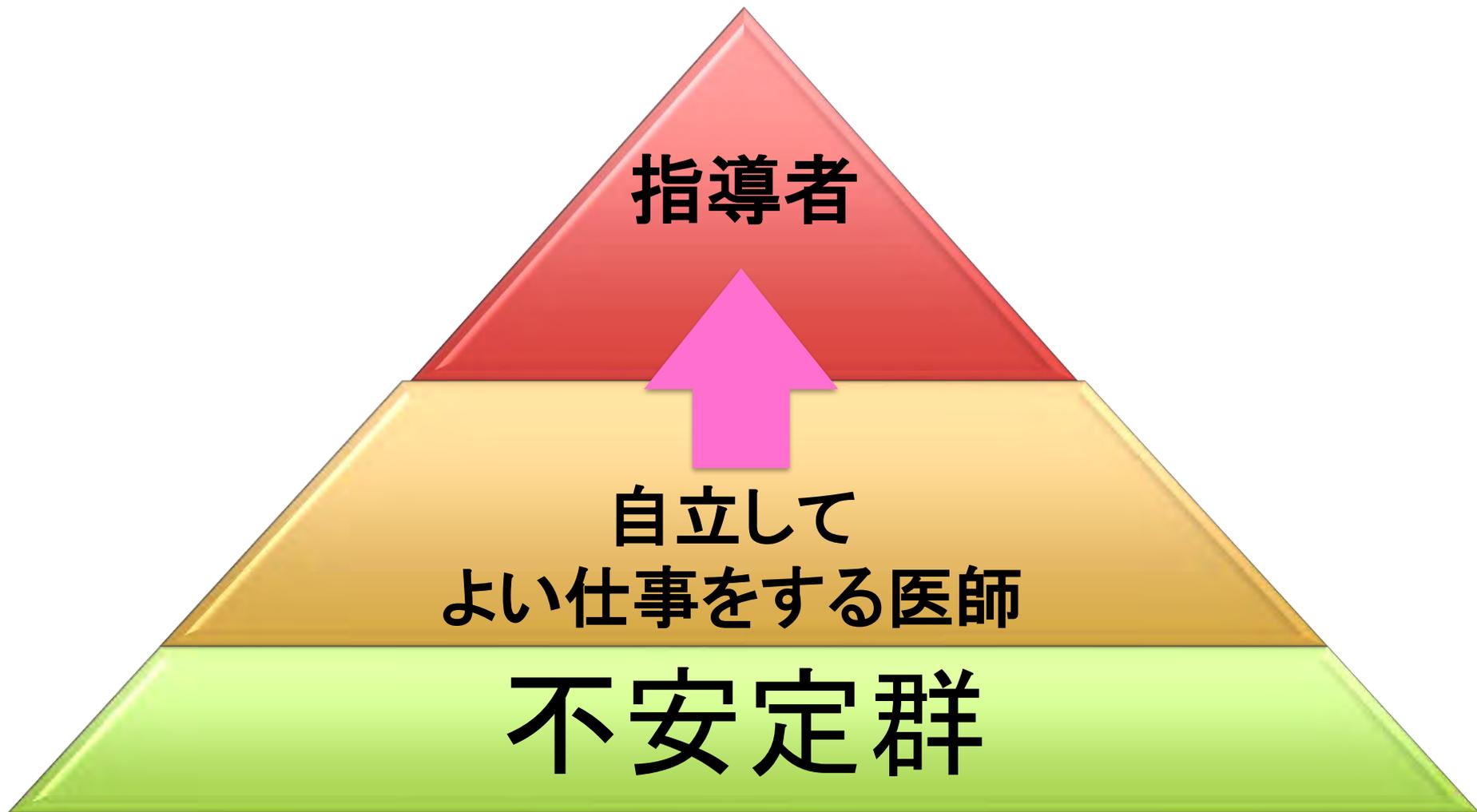
- 若い先生の成長やモチベーション向上を感じた。
- 若い先生と話すことで自分を見直すきっかけになった。
- 他支部、他施設の先生と交流できた。
- 他のメンターの意見や他施設の事情を知ることが参考になった。
- 若い医師の育て方や幸せを常に考えるようになった。

## メンティ



- 他の医局の先生がたの話を聞ける会であり有意義。
- 勉強の仕方や診療について参考になる話を聞いた。
- 結婚・出産・育児を経験した先生の具体的なお話を聞いてよかった。
- 時間がかかってもいいんだといわれてがんばる気持ちになった。

# 総会 教育講演 皮膚科リーダー養成ワークショップ



キャリア支援委員会企画 この人のキャリアが聞きたい！

～時空を超えてつなぐバトン～ ……オーガナイザー：伊藤 明子（ながたクリニック）  
岸部 麻里（旭川医大）

[レベル：Basic／Advanced]

15:40～15:43 はじめに

**EL38-1.** 乾癬研究を振り返る：システム・バイオロジーからのアプローチ

15:43～16:28 飯塚 一〈いづか はじめ〉

廣仁会札幌乾癬研究所

**EL38-2.** 一（イチ）皮膚科医の話～入局から専門医取得まで～

16:28～16:43 指宿 敦子〈いぶすき あつこ〉

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科皮膚科学

**EL38-3.** 専門医取得は通過点！？～取得前にすること，取得後にすること～

16:43～17:03 古川 福実〈ふるかわ ふくみ〉

高槻赤十字病院

**EL38-4.** やる気のでる指導法～論文の書き方～

17:03～17:23 多田 弥生〈ただ やよい〉

帝京大学医学部皮膚科学講座

17:23～17:40 総合討論・終わりに＋アンケート記入

第5回 皮膚科リーダー養成  
ワークショップ

募集人数  
30名程度

2018.10.13(土)▶14(日)

会場 ホテルコスモスクエア国際交流センター (大阪市住之江区南港北1-7-50)  
※6月1日より「ホテルフクラシア大阪ベイ」に名称変更いたします。  
実行委員長 峠岡理沙 (京都市立医科大)

皮膚科専門医取得後の医師を対象に、

皮膚科の将来を担うリーダー育成を目指し開催。

定員30名(1泊2日)



# プログラム

写真

院内で皮膚科のプレゼンスを向上させるためには？  
実績があがる、技を磨く、臨床力をアップさせるハンズオンセミナー  
真菌検査 Co-presented by POLA PHALMA Inc.  
14:50-17:00

座長：高山かおる  
講師：田邊 洋  
福山國太郎

実験室がなくても臨床研究をしよう。論文化できる研究をデザインする。  
臨床の疑問を解決するための「臨床研究デザイン+統計」入門コース。  
講習+演習  
17:10-19:00

講師：秀 道広  
中島沙恵子  
添削：手良向 聡  
峠岡 理沙

ナイトセミナー  
出会いの30秒で人生を変える印象深い自己紹介「名刺交換しましょう！」  
蓮沼直子・伊藤明子  
19:20-20:50

# プログラム

写真

演習「基礎的なコーチングスキルの習得」  
カンファレンスやミーティングで臨床研修医の指導を  
効果的に行うスキルと工夫  
9:30-11:00

蓮沼直子  
石川武子

演習  
皮膚科臨床現場で実際に起きている  
苦情・紛争対応に役立つコンフリクトマネジメント  
12:40-14:00

岸部麻里  
松村由美

その他にも盛りだくさんのプログラムがあります。  
知り合いが増えます。メンターに出会えます。

# 2018 IN KOBUCHIZAWA

日本皮膚科学会主催

## 第3回 皮膚科サマースクール

プロフェッショナルとともに皮膚科の魅力を体験する2日間

2018.7.15(日)16(祝・月)

会場 小淵沢アートヴィレッジ  
山梨県北杜市小淵沢町

2018年3月より 募集開始予定

定員 50名(先着)  
参加費 初期臨床研修医 → 10,000円

### 応募方法

日本皮膚科学会ホームページ  
「医学生・研修医の皆様」をご参照ください。  
<https://www.dermatol.or.jp/>

## 皮膚科サマースクール2018へようこそ



日本皮膚科学会理事長 天谷 雅行

「皮膚」は全身を覆う最大の臓器です。皮膚科では、皮膚になんらかの異常があるすべての疾患がその診療対象となります。その中には、感染症、炎症性疾患、腫瘍、自己免疫疾患、遺伝性疾患、アレルギー性疾患、薬疹等、原因として様々な疾患が混在しています。その中から、皮膚を診て、診断を考え、治療法を組み立てていく、シャーロックホームズのような広い視野と深い洞察力が大切です。

皮膚を一言で診ると言っても、何が違うのかわかりにくい面があると思います。しかし、ひとつひとつの皮膚はそれぞれ特徴的な所見を呈しています。この違いが分かるようになるためにはある一定の研修が必要ですが、一度分かるようになると高い専門性を持つ

ことができます。しかも、目が見える限りはその経験を積み上げることができますので、現役で活躍し続けられる年月も長いです。

「皮膚は全身の鏡」と言われますが、体の中で起こることを、内科的知識、外科的知識のようなマクロ的見方と、病理学的知識、生化学的知識のようなミクロ的見方を併せて考え、診療にあたります。皮膚科の中で、さらに高い専門性を考える上でも、皮膚病理学を極めたり、皮膚外科を極めたり、幅広い分野があります。自分の個性を生かし、自分の得意な分野をさらに伸ばしていくことができます。

皆さんが、1泊2日の短い時間ですが、自分なりに皮膚科の魅力を少しでも見つけてくれることを願っています。



お問い合わせ先

公益社団法人 日本皮膚科学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-4 TEL: 03-3811-5099

E-mail: [jda-summer@dermatol.or.jp](mailto:jda-summer@dermatol.or.jp)



# PDCAを回す

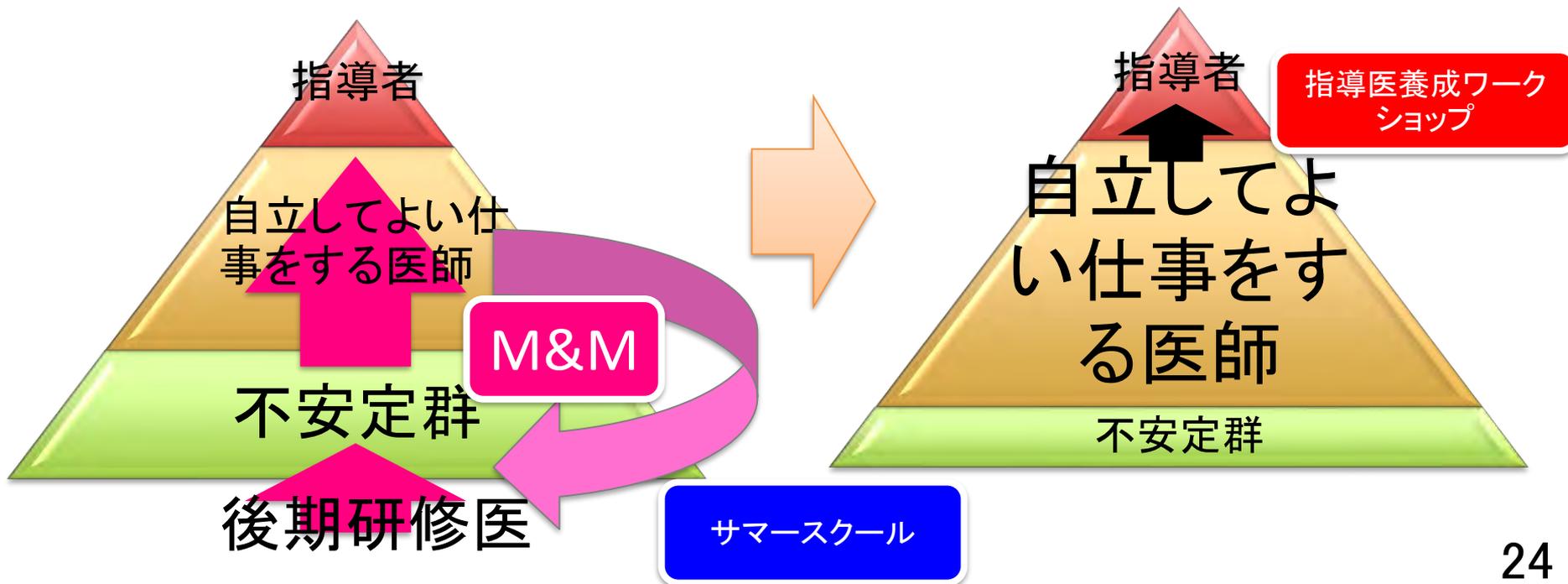
- 目的が達成されているか？  
調査
- 結果を会員へフィードバック
- キャリア支援の広く知ってもらうためにニュースレターを今年から刷新しました。

## ニュースレター2018が刊行されました！

キャリア支援委員会からこれまでM&Mニュースレターとして毎年発行しておりました冊子を、この度、キャリア支援委員会の活動をより知っていただく広報誌として装いを新たに「キャリア支援 News Letter 2018」として生まれ変わりました。

# 活動の成果

- 10年前のメンティが，メンターになって下の世代をメンタリングするようになった。
- 男性だけでなく多くの女性が指導医として自覚して活躍するようになった。



*Clinical Dermatology Specialistの  
育成をめざして*